

農村協働による外来生物の防除

排水機場のリスク軽減に向けたナガエツルノゲイトウの除去

普段の低地排水路

鹿島川土地改良区 事務局長 高橋 修



はじめに

水路を覆いつくす外来水生植物への対処は、飛散・流失を防止しつつ機械を投入して防除*根まで。引き上げた植物は適正な運搬により、ゴミ焼却場に搬入・焼却処分が理想、また指導されているところ。これには、当然お金がかかってしまいます。

老朽施設の維持補修にお金がかかる時代にあって余計なお金もなく、一方、取り組みを始めた平成10年代後半、地域社会との連携・協働を我々水土里ネットに求められていたこともあり、「農村協働による外来生物の防除」で対処する道を選びました。

*当時、対策に係る経費を支援する策がなく、100%農家負担

*当初の防除活動は、「21世紀土地改良区創造運動」の一環



令和5年度 農村協働による除去活動等位置図



印旛沼連携プログラム(アダプト) に基づくNPO美しい田園21との連 携*現在は水土里の路ウォーキングで連携

平成10年代後半、佐倉市内で活動する
NPO法人印旛野菜いかだの会と印旛沼土
地改良区佐倉西部支区とが協働してポン
プ場取水口を取り囲むホテイアオイの防除
をはじめの一步として、令和20年代中期に
は、100名を超える戦士により外来生物の
防除活動を行うまでになりました。人力に
よる防除ゆえ、面積・量などを見て、その効
果を疑問視する方もいらっしゃいますが、
もっと大きな効果を得ていると思い、活動
を続けています。☆お誘いは縁故で！

農村におけるソーシャル・キャピタル西調南部干拓低地排水路

知るに始まり、困った状況を共有！

協働の時は自然と戯れ、そして策を授かる！

「農村協働」

130人の戦士



平成28年、主戦場(低地排水路⇒一級河川)が変わっても農村協働スピリット変わらず

平成27年、印旛沼流域水循環健全化会議の生態系WGでは、排水機場のリスク軽減に向けたナガエツルノゲイトウの低密度管理を目的に、八千代市を流れる桑納川において、年数回行う継続防除活動を着手しました。この年、臼井の低地排水路での協働防除(最後は180名の戦士)をいったん終結し、「排水機場のリスク軽減」と、我々にもフィットする標題に流され、川での活動に舵を切りました*この川、国営干拓事業で計画され水公団が施工！

舵切の決断は、新たな連携先「国際ボランティア学生協会」の存在が大きく、外来生物の防除のみならず、今後、農業・水土里ネットの活動にプラスになると考えたからです。私が知るところ、関東では印旛沼流域における外来生物防除、近畿圏では琵琶湖での活動に参加しているとのこと。琵琶湖での取り組みでは協議会会員にivusaの名が連ねられているようです。



21世紀土地改良区創造運動着手時から、印旛沼・印旛沼地域の農業を心配して連携・協働するNPOいんば(理事長高橋修)多面的機能活動組織、ivusaとの取り組み



8月3日～5日まで、桑納川下流部で活動



農家の応援



OMOTENASI



沼内防除チャレンジ
R5.9.24

機械併用防除
R5.10.21



底なし沼のレッテルを貼
り、チャレンジしようとも
思わなかった沼内の長柄
防除も浮桟橋を使えば可
能となった⇒次は沼へ



お
疲
れ
さ
ま
で
し
た



佐倉・産業大博覧会での広報活動

水資源機構・印旛沼二期事業所・印旛沼流域水循環健全化会議など、14の関係ブースが活動。どのブースも長柄蔓野鶏頭・特定外来生物でリレーができます



今回、天候に恵まれず二日目はアメとなりました。雨にも負けず、寄っていただいたゲスト。特に子供たちに大きな声で「ナガエツルノゲイトウ」と復唱させておぼえてもらいました。



第2回飯重地区拡散状況調査とワークショップ

ワークショップで出た意見・聞こえた意見

- ・昨年度の範囲を超える分布を確認
- ・草刈・除草剤の散布に工夫の必要
- ・配水による拡大を心配するも人や機械の移動で拡大
- ・水口など、定着する前に除草剤を散布して防除
このことで農地内への侵入をだいぶ防げる
- ・水路に定着、群落をつくる場所も除草剤による防除
を行いたい
- ・原産国での状況、対処方法は
- ・多面活動において点検を通じ水口での定着を調査している。ある・なしの判定を役員が行い薬剤散布などは個人にゆだねる
- ・取り上げたナガエを適正に処分するのが大変



○結び

- ☆侵略的外来種の脅威について、すごいね！という方はたくさんいらっしゃいますが、実際困る人、困る地域が限定的だったので、後手に回ったと理解
- ☆侵略的外来種への対策について関東知事会における千葉県知事の発言以降、ここ千葉県でも「侵略的外来種・ナガエツルノゲイトウ」が表舞台に
- ☆G7「侵略的外来種の情報共有」防除・活用について情報が欲しい
- ☆印旛沼地域では若い力との農村協働で、まだ少し頑張るので、営農・施設管理の阻害につき農家に負担にならぬ低密度管理の方法を授けてほしい

平成5年11月30日に放映された「所さん事件ですよ」に登場した一凛のナガエ…約2か月でここまで育ちます*番組制作に協力させていただいた結果、農家のお話を直接聞くことになり、管理阻害一辺倒の話題提供をしていたことに反省…番組スタッフには感謝



ご清聴ありがとうございます